拘束種別: やむを得ず、車いすやベッドに拘束帯等で拘束する

実施月: 令和3年3月の実施状況

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	С	С		С	С	С	С	С	С	С	С	С	С		С	С	C	С	С	С	С		С	С	С			С		С	С
1	取組状況	り組 業務 更に	みを 進行	検討 次第 時間	する で、	。明 見守:	け職! れる[員の際は無	身り業更く	みを 進行 拘束	検討 次第 時間	する。 で、.	。明(見守 <i>:</i>	ナ職 れる	員の祭は	り組 業務 更に	みを進行	検討 次第 時間	する。 で、.	。明(見守 <i>2</i>	け職員 れる	員の祭は	する	。明	廃止 け職 拘束	員の	業務	進行	欠第一	で、タ	見守∤	ιる
	拘束時間																															
2	取組状況	経過 けて 寮外	観察 通院	中。 や日 安全	身体 中活 確保	拘束/ 動等/	廃止(に於)	に向ける会議	身経け寮で	観察 通院 での	中。 や日 安全	身体: 中活: 確保	拘束』 動等I	廃止(こ於(こ向ける	経過 けて 寮外	観察 通院	中。: や日! 安全i	身体: 中活! 確保!	拘束原 動等に	廃止(こ向ける	身体	拘束	実施	の頻	度が	少なし	し、終いこと	圣過額	観察り	上。上
	拘束時間	Е	Е	E	Е	E	Е	Е	Е	E	E	E	E	Е	E	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	E	E	E	E	E	Е	Е	Е	E	Е
3	取組状況		実施	。夜)巡	身体討を回を	実施	。夜				巡	討を	拘束 実施 行う	。夜	に向(間1時	けて: 計間こ	会議 ⁻ ごとの	巡	間 1	時間	廃止 ごと なる	の巡	回を	行う。	。次月	まり	りつな	ごぎ

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																															
4		経過けて	観察 会議	中。 で検	身体 討を	拘束 実施	廃止 。令	し、 に向 和3 目指	経過けて	観察会議	中。 で検	身体:	拘束』 実施。	廃止 。令 ⁵	に向 和3	経過けて	観察 会議	中。で検	身体 討を	拘束 実施	廃止 。令 ⁵	に向 和3	園の	会議	にて	身体	拘束	は終 [・]	了とが	なる。		
	拘束時間	Α	A	A	Α	A	A	Α	A	A	A	Α	A	A	A	A	Α	A	A	A												
5	取組状況	討を	为束 全実施 三評価	。補	助具	けて 発注	会議し、		討を	実施	。補	に向 助具: 価予:	発注	会議 [·]	で検 年度	討を 内導	実施 入後	。補に評	助具 価予	発注 定。	会議・	年度 、職			補助 ・後の					拘束解	解除 き	き試
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	Ε	Ε	Е	Е	Е	Ε	Е	E	Е	Е	Е	Ε	Е	Е	Е	Ε	Е	Ε	Е	Е	Е
6		いべこと。	未着 ド上 があ	用時がいたりため	間し落、解	確保 身体 可能	した を動 性が	にがかあつ	いべこと	未ドがその	用時 で激 り転	間を しく 落の 、解	確保 身体 可能	した; を動; 性が;	が、 かす あっ	をす 身体 危険	るが を動 性が	、依 かす ある	然と 様子 。そ	しがあた	り転	上で 落の 受傷	す時 あり	間を 、18	·設け 寺間弱	る。 引の軸	姿勢 圣減。	を保 身体	持して	ソファ づらし 軽減	ノこと	<u>:</u> も
	拘束時間	Α	С	С	В	С	В		Α	В	С	В	С	Α		A	С	С	В	В			Α	С	В	С	В				С	С
7	取組状況	課 <i>σ</i> . 試行	徹底 fを開	、余 始す	暇時る等	間で 、身	の新 体拘	いた東東施	身体 余暇	時間 等、	での 身体	新た	な試 廃止	行を ・軽	開始	身体のようは	時間	での 身体	新た 拘束	な試 廃止	行を ・軽	開始	新た	は試		開始	する	等、:	身体排	余暇時		

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 1	2日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	С	В	С	В	С	С	С	С	В	С	С	С	С	В	С	С	С	С	С	С	В	С	С	С	В	С	В	С	С	С	С
8	取組状況	着幹が計	て過 安定 を外 等、	ごせ して す」	るい「拘束	面設 際の 守 廃止	定」 車椅· 体制(・軽)	「体べ検に	せて す 身体	場面 る際 「見東	設定 の車 守り	て」持体・の場が	幹か ルト 検討	が安況 へを す」 等	をした。	せてすど、	る際	設定 の車 守りが 拘束が	」「 ⁶ 椅子· 体制。 廃止	体幹 ベル の検 ・軽	が安? トをタ 討」 ⁷	定し 外 な	しな 行」	いで 等、	済む	環境	整備.	J [雛床-	確認」 センサ 句け <i>が</i>	t-σ	試
	拘束時間	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С
9		化」 間、 ない	「個 おや 時間 ・ 軽	、対のでは、「支時では、「支時では、」のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	援の 間等 底」	時間 身体 等、	、食物束身体。	事 をし 拘束	援の 等身 底」	時間 ·体拘 等、	、食 束を 身体	の強化事では、からない。	お 特間 止・	っつ 引の ・軽》	敦 或に :	援の 等身 底」	体拘	、食 ^豆 束を 、身(事間。 しな 体拘〕	、おい時 い時 束廃	間の1 止・	時間 散 緊減	事間徹底		やつど、	時間 身体	等身	体拘束	束をし	爰の ^田 しなし 咸に向	い時間]の
	拘束時間	A	Α	Α	A	В	Α	Α	Α	С	В	A	В	В	Α	Α	В	Α	В	A	Α	Α	В	Α	A	A	В	Α	С	В	Α	В
10	ᄪᅲᄼᄆᆚᅶᆠᄀ	法を	·変更 · 軽	、 起 する 減に	こと	で、	身体:	拘束	るこ	とで	、身	支援方 体拘束 みを実	廃山	L • 車	圣減	るこ	支援 とで けた	、身份	体拘.	束廃.	止・耳	环试								ること みを写		
	拘束時間	С	С	С	В		С	В	В	В	С	Α		С	С	В	С	С	С	В	В	В	Α	С	A	A	Α	С	С	В	С	В
11		時なして	時間 「落 治医 止・	、課のちへ軽いる。	時底か相談の	身体「い状等」	課の. 況に [:] 、身(を見つ体	題徹着の	等身「 」ない l談」	体拘 日課 状況 等、	中東のに身組」が上上の一手を見つ体み	.なし」 (して) (す)	、時間 「対 E 治 E を止	引の 落ち 医へ 軽	題徹着の相	」「ない	体拘り 日課の 状況に など、	東を の見 に り 、身	し 直 し () 体 拘 :	い時 	間の落ち	東を 「落 談」	しな ち着	い時 かな 、身	間のい状	徹底. 況に	」「 つい	日課 <i>(</i> て主)	題時間の見る (・	亙し」 ►の相	

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																							A								
12	取組状況	が、 で安 身体	引き 心安 拘束	は続きな止中	、日 環境 • 軽	頃のを整	支援える	の中 等、	が、 な環	日頃 境を	の支 整え	援の る等	中で! 、身	安心?	安全 東廃	が、 な環	日頃 境を	の支 <u>掠</u> 整える	爰のる等	中で 、身	安心? 体拘?	安全 東廃	等、 施中	身体	援の 拘束 お た。	廃止	• 軽	咸に「	句けが	と取糸	且みを	実
	拘束時間																	С														
13	取組状況	がたか認等	引でりて身を、をべ体	は続気持ル拘を身き分ちト東実	、の、を廃水の、	安定人する	を確れり、組み	保るを」向	が分ちト	「安本外・	全を図 の状 取組	確保れる態み」	した. かか 確認 等、:	上りしり	、 気持 心東	安人す止施の定の取・中内	を状組軽。1	確れを」におはで保る確な向ら拘ぎ	関忍どナ回束わし、たはを	りて身取、をべ体り受	持ルカ東の	、 を 発 を 変 と 回	期間安ける	は身をりす	体拘確保持の	東は、人人	未実 上で、 人ど、	施でる 気 気 大態で 身体	あった うの を確認	た。た 安定 <i>を</i> 認して	なお、 生図 とベル	いる ノト
	拘束時間																															
14	取組状況	が本解用身体	引きにおった。当時では、一時では、一時では、一時では、一時では、一時では、一時では、一時では、一	は続切」場廃施身きに「面止中	、声べに軽・	支援からのす	開始 、 着用 る」	前安は等たいを利、取	が、 に声 面に	「支がいた」 では、	援開け、の着る	始前 不安は 」	に本。 を解え 利用・ 、身	人に済か治療体的	商切 る」 寮壊 東廃	が、 に声 面に	「をル限・	援開が け、 ^え の着り する」	始前不安は 日はな	に本 を解 理容 ど、	人に済 消する や治り 身体	適切 る」 寮場 東	始前 る」 する	iに本 「ベ 」な	人に ルト ど身	適切 の着	に声 [:] 用は [:]	を掛(里容 ⁾	ナ不 た治療	安を角 療場 <mark></mark>	面に関	 建定

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	С	В	В	В	В	Α		В	A	A	A	A	Α	A	В	В	Α	A	Α	A	Α	Α	A	В	В	С	Α	A	С	С	В
15	取組状況	動時 てい 等、	のみ る場	の使 合は 拘束	用」 ベル 廃止	「安 トを ・軽	全に 外す.	座れ 」 向け	使用はべ	」「 ルト • 軽	安全 を外	に座 す」	れて 等、	時のa いる ⁵ 身体i 組みる	場合 句束 を実	使用はべ	」「 ルト 止・	安全 を外	に座 す」	れてなど、	いる [:] 、身(場合 体拘	座れ	てい	る場	合は	ベル	時の <i>る</i> トをタ た取約	外す」	なと	Ľ, Ę	身体
	拘束時間	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	Е	D	D	D	D	D	E	D	D	D	D	D	D	D	A	D
16	取組状況	件かグのし改支体でいいのでである。	認の一り場、等し転プ組合就の	実倒会みに寝課タ施の議検備中題オ	。危に討えのある険て。て見り	な性軽居の守。起が減室ハりべ	あ向に内でいる。	が為け転面床とり。て倒の後身	件確	認し	実施	。急	な起	員きあった。	がり		認し	実施	。急	な起	き上れ	がり	面、 トと る。	急。議ソ身	起き G会詞 ト面 の間	上が	りか 関題に 夜間に オル・		転倒の て検 句束に く等車	の危険 :討。 こ関し 怪滅処	食性 <i>た</i> ハー ン こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	があ ド ドル

拘束種別: やむを得ず、手指の機能を制限するためにミトン型の手袋を付ける

実施月: 令和3年3月の実施状況

	果时间:2	11407	110.17		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		1 1 1 1				3 11 37 1			3 11 3				_									3 11 33 1			, , , , ,		
No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	Е	Е	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	Е	Е	E	E	E	E	E	E	E	E	Ε	E	E	Е	E	Е
1	取組状況	事た標にの様	場コあけ子のこと	サルミト	りテン鑑する	みシ未や。	した。 けでの うし、 かし、	。の生ブ、 ま目活で自	てルを組が、	両持っと自手ってし傷	のたいて	トン 態で 。 トン	を外 外の 動制 を外	してが歩行り返れている。	タオ動りる	ミト 頂い 中は	ミミト	外し [.] タオ.	てタ: ルを	オル [®] 持っ	を持っ ている	って る最 たし	た後	にタ ルを	オル 持つ	を持 事に	って	いる。	、入剂	谷時に	ノをダ た を を え	体
	拘束時間													Е									D									
2	取組状況	段階 り、	的実 現在	身体が にはし 様子	一定 日を	の効 _: 通し	果が	あ	あり	、不	安定	を爪 の状 する	況が	く様- 目立 ⁻	子が ち身	く自	の見 傷に 施し	つい	て未	心に. 然に	、爪 ⁻ 防ぐ	で掻こと		を擦た為	り続 、怪	けた	為、,	患部ス	が徐ん	マにコ	D際に 加が滲 本拘す	多ん
	拘束時間	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	E	E	Е	E	E	E	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	E	E	E	E	E	E	E	Е	E	Е	Е
3	取組状況	傷行ので	為が	:着用 夜間 中帯 た。	帯に	目立	って	いた	傷行 され 除の	為が た。 取り	夜間 その 組み	帯に ため をす	継続 、日 る。	して値 中帯I 1~ 2回	確認 に解 時間	引っ た。 けれ	ンか見ば継 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、出りを ² き続 ³	血すが 行い きょ	る事; 自傷; トン	があ [、] 行為z	っ が無 す時	引っンを	かき した 為が	、出 状態	血す でも	る事; 目をi	があ∙ 察る¥	った。 事も <i>ね</i>	、また みられ	こ、ミ いた。	ト 自

No.	実施日	1 [∃ :	2日	3日	4 E	3 5	5日	6日	7日	8 🗏	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	D		D	D	D		Е	D	D	D	D	С	С	С	С	С	С	В	В	С	С	Ε	D	С	В	С	С	D	D	D	С	С	С
4	取組状況	に着外の	雑誌いてする	まをこれれ ひんしょう とうしょう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	提供ごしみを	して て 実 族	こいし	本。 たた	人に ミト が、'	ンを 情緒	落りて見る	5着い いる。 こを行	また 時は	る時 、 両手	は片 人 を 外	手を 雑誌 し見	外 し 等 守 り	時 が、 定を	のは落整対	す事 着い 、両	が出 て 手も	来 て る し く	いな! は環:	い 境設	行い 時間	なが を設	ら職ける	員の など	見守 両手	りのミト	もと、ンを	は環り 、雑詞 外す 配ける	志を説 寺間 <i>を</i>	むし
	拘束時間	С		D	D	D		Е	Ε	Е	D	D	С	С	С	С		С	В	В	В	В	В	Α	С	Α	С	В		Α			Α	
5	取組状況	トし	ン 見 見	E外 Pり	し、	手指 能 <i>0</i>	iの)場	状態	態を	確認 動制	る月日に	、ンに なり組 はミト せず見	みを ンに	継続よる	して 行動	いる。 制限	. 14	る取にミ	ンりは 排る	みは をせ	継続 ず見	中。 守っ	トイてい	レ時 た	ンは	使用	せず	、見	守り	対応:	いてを継ん	いた	為ミ C行し	ト \軽
	拘束時間																																	
6	取組状況	3	をす	ミ施		問題	夏が	なり	ナれ	ば、	みる	より! E実施 Eの方	中。	問題	がな	けれ	ば、	みを	より 宇 実施 この方	中。	問題	がな	けれり	ば、								トを実 確認し		
	拘束時間																																	
7	取組状況	が傷き拘	、気の、東原	上理 恐れ 室温	的が等を軽・	快感るた調素	がからなす	高さ 、 う る	まる 引き 等、:	と自 続 身体	が傷 き 拘	対生恐室廃施を関する	的不が等を軽・	快感 るた 調整	が高 め、 する	まる 引き 等、	と自 続 身体	こ <i>の</i> 会議 め、	_{観にて} 身体	、半 拘束	年間	実績	がなり	いた										

ı	lo.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
		拘束時間	Е	Е	Ε	E	Е	Е	Е	E	Е	E	Е	Е	E	E	Е	Е	Е	E	Е	E	E	E	Е	Е	E	E	Е	E	E	Е	Е
	8	取組状況	今後 者 予 定	きの方 なび上 E	·向性 席職	につ 員で	いて 打合	、各: せを [:]	担当 行う	各セ て、 合せ	クシ 今後 を実	ョン の方 施	のリ [・] 向性	ーダ・ につ	ーを: いて(交え の打	ミ ラオ た。	トンケを	を外楽し	してむこ	映画とが	鑑賞 [*] でき	やカ まし	ホー	·ム会 lし、	議に	於い	て、	ミト :	ン解	除のス	ます 方向性 割知し	ŧを
		拘束時間																						F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
	9	取組状況																						会議 着用 た。	で、 し、 ホー	瘻孔 胃瘻	形成 の抜 は、	まで 管を 本人	の間、 予防で	、左 [:] するえ	手に: 決定で	ー 東半ミトンま をアセ	をし

拘束種別: やむを得ず、行動を制限するために介護衣(つなぎ服)を着せる

実施月: 令和3年3月の実施状況

	果呀 月:		(167)		Λ 0	יול נלטי	· / ·	00,	/J ///	_ ' F'J		ш) 🕻 О	1 HV	11117		רו ניו		, <u> </u>	H 1) H 1 %	<u> </u>	רוחן ניח	1 / JMJ /		ניין ניין כ	<u>Д</u>	. THIJ [H		'	<u> </u>	1)		
No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																															
1	取組状況	経過 回を 安全	:観察 :行う :確保	中。 [;] 。べ につ	夜間 ¹ ッド いて:	時間 拘束(会議 [*]	のみで	の巡 での すし	経過 回を 安全	観察 行う 確保	中。 [;] 。ベ	夜間1 ッド いて 5	時間 句束 <i>0</i> 会議で	ごと りみて で検討	の巡 ごの けし	身経回安次	観察 行う 確保	中。ネ 。ベ [・] につ!	夜間1 ッド いて 1	時間 句東 <i>の</i> 会議で	ごと Dみて で検討	の巡 ごの		会議	にて:	身体扫	句東に	は終了	てとな	る。		
	拘束時間	Е	Е	Е	E	Е	Е	E	Е	Е	E	Е	Е	E	Е	Е	Е	Е	E	E	Е	E	E	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е
2							ために え案材	수 = 4	自傷施中	防止 。代	のた。替え:	めに 案検i	身体 护	向東 を		自傷施中						宇		防止的中		めに』	身体扌	句束を	上実施	i 中。	代替	え
	拘束時間		D			D					D	D	D					D		D							D					
3	取組状況	快感 に、 ごす	の軽な方止・	減にぎ服を検	取り ^を を着り 討す・	組む。 用し ⁷ る等、	ことといり (私)	が過れる	に取 を着 等、	り組 用し 身体	具むな拘を	とも(方法? 廃止、	こ、で を試行 軽源	つなき テする	ぎ服 S	ど、	り組 用し	むと。 ない 拘束	とも(方法 廃止、	こ、で を試行 、軽派		ぎ服 らな	ともまた	用装 につ の質	なぎ なぎ	服を見 服を見	着用し 着用し	しなし しなし	丶方法 丶 取組	を試 みと	行中 同時	ات

拘束種別: やむを得ず、支援者が自分の体で利用者を押さえて行動を制限する

実施月: 令和3年3月の実施状況

No.	実施日	1	7 2	В	3 H	4 F	1 5	ПΕ	3 FL	7 H	8 FI	9 FI	10 FI	11 FI	12 FI	13日	14 ⊟	15日	16 FI	17 FI	18日	19 FI	20 FI	21 FI	22 FI	23 FI	24 ⊟	25 FI	26日	27 FI	28 FI	29日	30 H	31 FI
	拘束時間				I				у н	I	I	I	I		124	101		101	104	., ,		Į.	201	2.1		201	I	201	1,1	I	2011	201		<u> </u>
1	取組状況	伏ホく取月	は一、り日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の	きだ	の続ィ支こト体からという	あグにが東	。 三至 ジ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	しる客で会かこちい記	しと着る。義	はな きを 3				解除							解除								解	除				
	拘束時間																										A							
2	取組状況	2月に	24 なる	日じっこ。	は降は	ま、 : く 過	急激	ilこれ して	不安いる	定 る。	てな 人の る。	いこ 気持 また	とにをお	不安 丁寧 菓子	のがに作動	るが、 聴し など	、本 てい 本人	急激ごし	に不,てい	安定 る。	にな	るこ	とな	く過	の手 態が 自傷	·紙の [・] 続き	提示 、も 利用	や声 の投	掛けげ髪	頃聴 引き	等行 行為:	となる つたが がみら るため	が興奮 られ <i>た</i>	§状 ≤。
	拘束時間																															A	Α	
3	取組状況	がる安	、 ス 定 軽	き ジ 図	は続 ユるに	、 ル摂 とて	「見i 是示」 ぞ、J	通し 等 身体	が 行動 拘す	寺の廃物	が、 ジュ 図る	「見 ール こと	通し 提示 で、	が持 」等 身体	東は 行動東 を実	スケ の安! 廃止	定を • 軽	が、 ジュ 定を	期見 一図経	通した。提示に	が持 」な で、	てる ど、 身体	スケ 行動(拘束)	の安 廃 主体	行動減に 度の	の安 向け	定を た取 ルデ	図る 組み ィン	こと を実	で、 施中	身体: だが.	提示」 拘束原 、この 因等で	廃止・ の期間	· 軽 引 2

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																										A					
4	取組状況	が、 動・ の伝	引き 日課 え方 ・軽	続き の導 のエ	、「 入の 夫」	新た 検討 等、	な余 」「 身体	施暇活拘を だ活動束実	が、導入工	「新 .の検 :」等	たな 討」 、身	余暇》 「活 体拘〕	活動 動の 東廃.	・日 伝え 止・	課の 方の 軽減	が、 導入 工夫	「新 の検 」な	たな: 討」 ど、:	余暇; 「活 身体;	活動 動の 拘束	・日記 伝える 廃止	課の 方の ・軽	動の 減に 度ホ	伝え 向け ール	余暇 方の た デ し た こ た こ た こ た こ た こ た こ た こ た こ た こ た	エ夫 組み ング	」な を実	ど、: 施中:	身体! だが、	拘束原 、こ <i>0</i>	を止・ り期間	1
	拘束時間	Α	A	A	A	A					Α				A	A		Α		Α	Α	Α	Α		A	Α	Α	Α		A		A
5	取組状況	用い定を	、本 して	いく	安心 」等	でき 、身	る環	境設	が安 く」	心で 等、	きる 身体	手法:環境! 環境! 拘束! を実!	没定: 廃止	をし [.] ・軽	てい 減に	が安 く」	心でなど	きる 、身(環境 体拘	設定 束廃.	をし [*] 止・	てい ^図	環境	設定	析の ⁵ をし ⁷ けたI	てい	〈 」:	など、	、身化			
	拘束時間																															
6	取組状況	が、 入」 ジュ	引き 「見 ール	.通し ·提示	、「 の持 」等	余暇てる、身	活動 スケ 体拘	施ゆの 東実	が、 しの 等、	「余 持て 身体	暇活 るス 拘束	体拘りが、からないでは、	導入. ュー. ・軽?	」「」 ル提	見通 示」 句け	が、しなど	「余 持て	暇活 るス 体拘	動の ケジ 束廃.	導入 _. ュー. 止・!	」「! ル提 ^え	見通示」	動の示し	導入	、身化	見通	しの	持て	るスク	ケジ <i>:</i>	ュール	ノ提

No.	実施日	1	B	2日	3日	4	日	5日	6日	7日	8 E	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																																	
7	取組状況	が過身	、デ ご† 体‡	引き せる 句束	続き 環境	·、) 整位 [•]	居室 備に	ヹで? こ努と	安心める	して 等、	が、境類	・軽減	で安め	心しる等	て過、身	ごせ _. 体拘.	る環 東廃	が、 境整	居室 備に • 軽	で安め	心し るな	て過 ど、	ごせ。 身体:	る環 拘束	心し	て過	ごせ	る環	境整	備に	努め	るなと	ご、身	
	拘束時間																																	
8	取組状況	がきしめ入提	、つ、る等供・	引かそと安を	続や背もしう	、周・、生と	不囲要音活で、安の医薬環、	を環境 でででででは ででででする。 ででできる。	こ	確をの援東忠認進導の廃物	こが囲要音るこ	りの対象性に対期不環のグ活でた間安境特ッ環、取	定を定ズ境身に確をのの体	な認進導提拘るしめ入供束	き、る等や廃っそと、支止	かのと安援・	や景にで行減周・、きうに	が囲要音るこ	不環のグ活	定を定ズ境身に確をのの体	な認進導提拘るしめ入供束	き、る等や廃っそと、支止	かのと安援・けずも心を軽	や景にで行っている。	き離さが	本祭にとり	がめる	分転 と 提供 東廃	換もで止・	図る、る支軽減	こと好き援体	が出す なもの 制を	kる現 D」 Me備し	環境「好しな
	拘束時間																																	
9	取組状況	がる心を	、作不で行	也解をう	用消の生と	のたる環境	声 め 境 身 体	への 引 引 提 り 提 り 提 り 表 り ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ	反続共東応きや廃	によ安援・	がる心を	別他安きうに開利解るこの	用者の生と	のた環、	への 、 引 、 提 体 拘	反応き、供を、	によ 、 支援 止・	が る 生 と	他利 安環境 、身	用者 消の 扱 体 拘	の声がいた。	への 、安 支援 止・	反応 心で を行	に き う こ	の声 きる	への 生活	反応 環境	によの提	る不供や	安解 支援	消のを行	ため、	安心 こで、	ンで 身

No.	実施日	1 [2	日 3	日	4日	5日	6日	7日	8 E	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日 25	日 2	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																		Α														
10		が、 環プで、	、引 境の 、身	き続 提供	き と 東	、安 支援	心で を行	きるうこ	生活と	が、 環境で、	の期間 引引 身の 身 を実施	続き 供や 拘束	、安 支援	心で を行	きるタうこ。	生活と	援を	♪でき そ行う 軽減	こと	で、	身体	拘束原	廃 宇体	る生	活環	は身体 境の提 • 軽減	供や	支拉	爰を行	テうこ	ことで		
	拘束時間																					A		Α									
11	取組状況	が、 環プ で、	、引 境の 、身	き続 提供	き と 東	. 安 支援 廃止	心で を行 ・軽	きる	生活 と	が、やき	上・軽	でき 行う	る生 こと	活環: で、:	境の 身体	提供 拘束	接を	♪でき 行う 軽減	こと	で、	身体	拘束	廃		身体	る生活 拘束廃							
	拘束時間																																
12	取組状況	がをてる	、咸楽も・引らしの軽	き続環たの提	き境別供」	、 と は は は 単 は り は り は り は り り り り り り り り り	気に「味り	な落ちを拘		が境め供」	整備」 こ興味	に落 関体	るち を 拘束	のを いてる 廃止	減らる 楽しの ・ 軽	す環 むた の提	が、 境整 めに 供」	を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	にな 「落 関心 薬調	る ち き き き き り と う り と う り り り り り り り り り り り り り り	のいてなど	減らる 楽しの り り	す環 むた ル 大 大 大 大 大	整を と新 東廃	行い たな 止・	廃な支軽認にら方に	、こ 法の	これ a) 検言	まで <i>0</i> 対を行	り対 テうか	志実態 など、	態の分 身体	♪析 本拘

No.	実施日	1 [3 2 5	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																															
13	取組状況	が携ン	、引 ā 」「ヨ 対応 」	ー は り 続 境 り ま も ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	·、「]整」 身体	医療 「マ 拘束」	との? ンツ· 廃止	連 ーマ • 軽	が、 整」 身体	「医 「マ 拘束	療と	の連 ーマ: ・軽	隽」 ン対ル	「環 [‡] 芯」	意調等、 た取	が、 整」 ど、	「医 「マ 身体	療と(ンツ-	の連 ーマ∶ 廃止	携」 ン対 ・軽	「環 [‡] 応」 ⁷	境調なった。	の連	携」 、身	は身 「環 体拘	境調:	整」	[소]	ンツ-	ーマン	ノ対応	١ [﴿
	拘束時間													Α																		
14	取組状況	が視は	、先(覚的 [/] 拘束原	」 は身 り見 提 上 を を を も	しを を行	持ていな	るよがら	うな 、身 取組	が、 視覚 体拘	先の	見通 提示 止・	しを を行い	特で いなが	るよ [、] がら、	うな 、身 取組	が、 ルを 活環	「ひ 視覚 境の • 軽	は身がめたは多がない。	なえる。	のス る方 ど、	ケジ: 法」 身体!	ュー 「生 拘束	なで 「生	のス 活環	ケジ 境の	ュー _. 整備.	ルを 」な	視覚的 ど、」	的に信 身体打	云える	る方法	<u> </u>
	拘束時間																															
15	取組状況	機	能低-	下のた	· :め、	入院	中		機能	低下	のた	め、.	入院「	‡		状態	著明	- 時退 で粗剝 に再 <i>2</i>	暴性,	が出		-	入院	· :中								

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																															
16	取組状況	がせ「示体	引き い会 見通し 余	続話の暇止・	、 話題 動の	不安のかが、	感を げか ュー 」等。	募けル、身	が、 話の 暇活	「 新 は 、 動 の	安のケ提供	を募 げか ュー 」等。	らせ ^に け」 ル提 ^に 、身(ない。 「見」 示」 体拘り	会通「 ・ 東廃	が 話 の 既 活 の 形 	動の ・軽	安のケ提供	を げュ 」 な	らせ」 けよ ど、	ない: 「見 示」 身体:	会通「向 し余東	こ を し 供」	らせくなど	ない スケ 、	会話 ジュ	・話 一ル	題の	投げ <i>が</i> 」「ź	かけ」 余暇清	「月 舌動 <i>0</i>	見通 D提
	拘束時間																															
17	取組状況	が用めが	引き 品をそ らこと	続 ろ で 体 拘	、本 る等 情緒 東廃	人の 環境 安定 止・	望む: 整備 を図	生活努な向	が、 える で、	本人 等環 情緒 東廃	の望 境整 安定 止・	む生 備に を図	活用。 努め・ りな;	品をうること がら、	そろ と り 取組	が え で 体 拘	期本等情束実間人環緒廃施	の望 境整 安定 止・	む生備にを図	活用めなりなりない	品を るこう がら、	そろ と 。身	む生とで	活用	品を 緒安	そろ 定を	える:	等環: なが	境整値 ら、。	備に勢 身体的	きめる	るこ

拘束種別: やむを得ず、自分の意思で開けることができない居室等に隔離する

実施月: 令和3年3月の実施状況

						73 - 1 - 11	.,, -				* 1 * 7 1 3 4		, , , ,			- 1 - 4 F 3 S				, []	×1 -11-3 ×				+14寸1日1/下/							
No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日 25	日 26	日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																				В											
1	取組状況	に、 緒が を行	ある 安定 わず	過程し、見てで守	の許? いたが きるが	容を行 ため だけ も	テい、 居室施 皆と過	情	に、 緒が を行	ある 安定 わず	過程し、見てで守	の許る かたか きるか	容を行 ため だけ を	テい、 民室施 皆と過	情疑	への 程 し ず、	過干が度のでき	渉を 許容: たた! るだ!	しない を行い め居3	ハよう ハ、 [†] 室施鍋 こ	る。 う に 緒 を せ る に 者 を せ る	あ 安 iわ	容をペー	行い	過干渉る 情緒の3 皆と過ご	を化に	一面	湿慮し	なが	b .	共有.	ス
	拘束時間																															
2	取組状況		って	まます いるか				は行		って					は行		って						園の	会議	にて身体	本拘 す	えば	終了	とな	る。		
	拘束時間	С	A	С	В	С	С	С	С	С		С	С	С	С	С	С	С	С	С		С	В	С	С	Е	3	С	С		С	Α
3	取組状況	せてに対他利	いる して 用者	落が, のの 家 を を を を を を を を を を を を を を を を を	就寝育 りが約 全確(前に 続いで 呆や ^ス	也利用]者)。)拘	前に レー の時	限定 トし 間帯	に対し されい なのく。	てき <i>†</i> ヨも <i>を</i> 弋替3	た。 <u>-</u> あるの	Lスナ Dで、	ا ت	渉(拘り) 室に [・]) に サム:	対して タ <i>ー</i> :	て、fl ンの導	する避 也利用 算 入を]者 : 烩	して		他利用有利用者(

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間																								D	Е						
4					t、急 過ご				てな 人の る。	いこ 気持 また	した。 りにをおな ・	不安 <i>f</i> 丁寧(菓子(がある こ傾取 乍り <i>な</i>	るが、 徳して などス	本 てい 本人	急激ごし			こなる	ること	∶ なく		手紙 が続 傷や	の提 き、	示や もの 用者	声掛(投げ、	ナ、化 髪弓	原聴等 き行	たっがる恐	たが、	興奮された。	状態 。自
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Ε	D	D	D	D	D	D	В	В	С	Е	D	E	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С
5	取組状況	うタ の導	イマ 入」	ーの 等、	見通 導入」 身体打 組みる	「	除暇活 落止•	5動 軽	の導 等、	入」 身体	を持 「余明 拘束!! を実力	假活重 廃止	動の類 • 軽減	算入」		の導「夜	入」 間の ・軽	を持っ 「余明 開錠」 減に「	段活動 なと	動の導 ど、身	拿入」 身体指	東	活動	の導	入」	「夜	間の角	舜錠」	'一の など E施中	、身		
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	E	E	D	D	D	D	D	D	D	D	E	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	D	D	D	D	D	D	D	D
6		いた	を伝	える	サム? 」等、 けたI	身体	本拘束	廃	る」	等、	ーン 身体 組み	句束图	桑止	• 軽派		る」	など	ーン釒 、身 ƙ 取組∂	本拘り	東廃⊥	上• 轁								ええる lみを			身体
	拘束時間	С	D	С	Е	Е	Е	D	D	С	С	D	Е	D	Е	С	С	С	Е	Е	D	D	D	С	С	С	Е	Е	D	D	D	С
7	取組状況	眠切用」	進」 「見 . ール	「サ 通し 提示	を ある ある は は は た り た り た り た り た り た り た り た り た	ーン ⁴ てるス 、身体	キー <i>σ</i> スケ 本拘束)活 ē廃	る」	等、	ーン: 身体: 組み:	句束图	桑止 -	• 軽派		る」 拘束	「夜		解錠」	なと	<u>:</u> 、身	∤体	錠」		、身 [·]				える			

No.	実施日	1	日 2	∃ 3 €	3 4	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	D	C	С		С	Е	С	С	Е	С	С	С	С	Е	D	Е	С	С	D	Е	A	С	С	С	С	D	С	D	С	С	С	С
8	取組状況	日	課の 夫」	き、	「 身体	_ 活動 拘束	カの fi 戸廃 l	云え <i>た</i> 上・軽	っの	入」 等、	「活 身体	動の値 拘束原	舌動・方式・ 発中・	うのコ ・軽減	[夫」	け	入」 「夜	間の ・軽	動の(開錠 ₋	伝えた 」なる	ちのコ ど、身	[夫] 身体拍	東	方の		J [7	夜間(の解釒	〕は	こど、	「活 身体 。		
	拘束時間	E	E	Е		Е	Е	Е	Е	Е	E	E	Е	Е	E	Е	E	E	E	E	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е	E	E	E	Е	Е	E
9	取組状況	よ定	る、 」等。	き、 本人か 身々 取組 <i>み</i>	ヾ安 k拘	で 記 記 東 原	ごきる WELL・	る環境 ・軽源	嗀	が安 体拘	心で	きる! 止・!	手法に 環境討 軽減に	设定」	等、	身 双組	が安 身体	動分 心で 拘束 を実	きるI 廃止	環境言 • 軽测	没定」	なと	· •	境設		など.	、身体				安心		
	拘束時間	С	C	С		С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С
10	取組状況	「 提:	見通 示」 ⁽	き、 しの持 等、身 た取糸	ります。 ●体	るス 拘束	くケシ P廃L	ジュー L・軽	-ル	持て	るス 拘束	ケジ. 廃止	算入」 ュール ・軽源	レ提え	卡」等	₹、 :取	持て ど、	暇活り	ケジ. 拘束	ュー <i>ノ</i> 廃止	レ提力 • 軽源	た」な	ī	ジュ		提示.	」な。	ど、身			てる。		こ向

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間													С	С		С															
11	取組状況	がきしめ入提	引かそと安を行ると心行	は続や背もしうに身き、景にたこ向	、周・・生との理解を	安環の対策の対策の対域の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現を表現している。	こ競寺ソニ体なを定べ支拘ををでいる	認進導の廃	が周景にきう	不の要音生と安環因楽活で	定になる。	な認定ズの体を記述を記述している。	きし進算共東の、め入と廃し	実いそる等友上中施けのと安援・。	うずもで行演	けのと心を	、周・、 きっこ	、囲要音生とけ 不の因楽活でた	環境を 対対 関 関 り り り り り り り り り り り り り り り り	を確認を必ずるとなる。	忍生を しめ うと 廃 きと 発と 発と 発し	そと 安援 ・	き備こ身体	本人 努め 」を	が気を提供産	分転打 とも1 できえ ・軽減	奥を図 こ、 る支持	図るこ 「好き 後 体制	議となを取実がも整組	出来の」	る環: 「好 なが	境整 きな ら、
	拘束時間																	Α			В											
12	取組状況	が、 体制 等、	引き 別の検 身体	は身は続計りませる。	、 「∑ 「医∄ 発止	安全な 寮との ・軽減	ょ見守 D連携	: り : し	が、 討」 拘束	「安 「医	全なり 療と(・軽)	見守 ^し の連打	り体制 隽」≒	ト実施 制の 手取 を取	è ▶体 ∃み	「医	療と 止・!	見守り の連携 軽減に	隽」な	よど、	身体	」た	守り	体制	の検	討」	「医療	きとの	施だが り連携 且みを	」な		
	拘束時間										С	A						Α			В	С	С									
13	取組状況	がののケの	引課し 引課し ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は続し「ン等たりき」、現りまり、	、「誤 「規 員 「 事体 「 事体	言葉だ 則正コ が着東 り	がけいユミハ 生い 生い 生い こうれい こうれい こうれい こうれい こうれい こうれい こうしん いいしん いいしん いいしん しんしん いいしん しんしん しんしん し	で活・境軽	「規と 済体	則のおう	しい! ミュ: いた!	生活の ニケー 環境の ・軽源	の促し ーショ の提係	足しョ共句し」」(当まれた)	「職 手、 : 取	「規と落体	則正の方着 拘束	けしミい廃施等いュた止中。	上活 <i>0</i> ニケ− 環境 <i>0</i> ・軽源	の促し -ショ D提供	ノ」「 ョン」 ŧ」等	職	の促 ち着	し」	「職」 環境(員と(の提(カコミ 供」な	ミュ= よど、	「規 ニケー 身体	ショ	ン」	「落

No.	実施日	1	3	日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間														В																		
14	取組状況	がののケの	、日促一提の世界の	き促」ョ」	売 し 「 ル い り い り り り り り り り り り り り り り り り り	、「規 り 員 落 り 体	言葉が 則正し のコ お着し	ハた環 廃止・	デで E活 環境	「気 備」		るも(身体:	のを》 拘束®	咸ら? 廃止	ナ環境 ・軽減	金に	が、 し」 境整	「言 「気 備」	は は ま に 等 、 取 に れ に に れ に に に に に に に に に に に に に	ナ等で るもの 身体‡	でのE のを派 句束原	日課仮 或らす を止・	E -環 軽	を行 たな	いな 支援 軽減	がら 方法	、これ の検	れまで 討を	での対 テう <i>た</i>	₹対よ 議応ど施 実実、し	態の 身体	分析 拘束	と新 廃
	拘束時間	C	(5	Е	В	С	С	С	С	С	С	D	С	С	В	Е		В	С	С	С	С	D	С	Е	С	С	С		Е	С	С
15	取組状況	方体		生,廃」	舌環 [」] 上• •	竟の	整備」	カ伝 <i>え</i> 等、 ナた耶	身	境の	整備	」等、	、身体	本拘り	「生活 東廃止 実施中	•	視覚 境の	的に整備	なでで 伝える 」等、 けた I	る方: . 身(去」 本拘す	「生活 友廃业	環 - •	方法	٦ ر	生活	環境(の整備	黄」 な	レを視 など、 実施中	身体		
	拘束時間		E	3		Α			Α	В	Α	В	В	В		В	В		В	Α	В	В	В	Α			В		Α		Α	Α	A
16	取組状況	え、東	き き 赤 上 中	「 	会暇 :	支援.	」等、	こよる 身体 取組 <i>み</i>	卜拘	暇支		等、:	身体排	句束图	ち」 「 廃止・ を中。	軽	暇支	援」	示に。 など、 けたI	,身体	本拘す	を展り	<u>.</u>							「余暇			
	拘束時間								В										В													С	C
17	取組状況	「 拘〕		活重 止	動の浏 ・軽減	舌性	化」等	民確 係等、 身 た 取 約	}体	の活	性化	」等、	、身体	本拘り	3 中活 東廃止 実施中	•	の活	性化	睡眠の 」な。 に向り	ど、」	身体护	向東졝	Ē.							舌動の 句けた			

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	В	В	A	В		A		В	A	С		С	A			В	A		В	Α	Α	В	A			Α	Α		В	В	В
18		置」 握」 等、	「本 「就 身体	人の 床時	状態(間後(廃止	の的研 の支持 ・軽派	で、在変し、	<u>.</u>	の状 間後 変更	態のの支	的確 ² 援変 []] 、身(ルの記している。	星」 「起房 「廃」	「就床 ま支援 と・軽	E時 爰の 経減	の状 間後 変更	室態の」向	的確を 援変! ど、!	な把排 更」 身体排	屋」 「起房 句束 <i>勇</i>	「就床 下支援 逐止・	時 gの			、睡り組みり				· ,身	·体拘	束廃.	止•
	拘束時間	A	A			A	A	В		A	Α	A	A	В	В		A	A	A		A	Α						A	В	A		
19		時間 ムの	の徹 利用	底」 促進 ₋	「食 <u>'</u> 」等、	堂・ え 、身体	をした デイル 本 み を ま	レー ē廃	底」 促進	「食 」等	堂・· 、身(しなし デイノ 本拘す みを写	レー <i>』</i> 友廃』	ムの利 L・軽	川用 怪減	底」 促進	体拘 「食 」 向け	堂・・ ど、!	デイノ 身体‡	レー <i>』</i> 句束 <i>勇</i>	ゝの利 Ř止・	J用	ルー	ムの		足進」	なと	三、身		「食」		
	拘束時間	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	В	С	С	В	С	С	С	В	С	В	В	С	С
20	取組状況	置」 等、	「落 身体	ち着り	いた 廃止	環境 <i>(</i> ・軽派	・ ・ ルの が提供 載に向	ŧ」	着い	た環 止・	境の排	ルの記 提供」 こ向じ	等、	身体	卜拘	着い 拘束	室ドた環境を	境の ・軽	提供」	なと	ご、身	∤体		など	、身化		_			いた :向け		

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С
21	取組状況	の討究明に過]」「 !ごす .・軽	「不 絵本 時間	調時(読み ² 増」	の原 等職 等、 ^具	支援の写ります。	型期 一緒 東 上実	み時止中方法	散を軽なを	の等やに、討動早職す向会し」	員と- 」 は ま は ま た り た り た り た り た り た り た り た り た り た	-緒に 身は な組み 安定前 F前中	に 過 持 を る の 見 を る を る を る を る を る を ろ を ろ を ろ を ろ を ろ	ず廃施援室	・間止中の	を増える動	等職」 減に 減 お 、 は	員とで 」 向 「 日 課 で	入一どた前とド は が は が は が は の で が に の に の に の の に る に る 。 に る 。 る に る 。 に 。	身体拘 組みを ひ居室 て定着	ず東実外。	と 外で	緒にの活	過ご 動」	す時 など、	間を増 日記	「絵やを た	」「 実さ	午前せる	中の) こと	居室 で、
	拘束時間	Е	С	D	С	С	С	С	Е	Е	С	D	С	D	С	Е	D	С	С	С	D	С		Е	С	С	С	D	С	С	D	С
22		錠」 暇活	動導	員と(入」 ⁽	のボ- 等、:	ール 身体 非	の施設では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	等余 医 医 医 医 体	との 入」	ボー 等、	かでの ル投り 身体! 組み:	げ等 st 拘束 ß	除暇; 落止•	5動導 軽減	見し	との 入」	ボー <i>がど、</i> けた〕 担当!	ル投(、身(取組。 職員	げ等 体拘す	解錠 余暇 汽车 乘车 车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车车	舌動導 ヒ・軽	と減	げ等	余暇	田中《日	尊入 」	なと	「「りまな」	体拘	+口 77.	止· 啦号1	軽減
	拘束時間			В			В															С		A	В	В	С	В	С	С	В	С
23		少な 環境 定等	:く、 :設定 :) 」	クー <i>/</i> 、音 等、:	ルダ! 楽を! 身体!	ウンで 聴ける 拘 束原	(を現場の) では、 一	iる き設 · 軽	だ少環定	たが く、 設定)	は身行いた。	環境 ^捜 ルダ「 楽を耶 身体丼	を備 ウンさ 恵ける 句東原	(刺激 F図れ 5環境 F止・	かる 記 設 軽	クー 定、 等)	ルダ 音楽 」な	ウン を聴 ど、:	を図れ ける 身体 打	をかる意味を	環境設 设定 隆止・		れる ど、 中。	環境 身体 なお	設定 拘束 、こ	、音 ³ 廃止 の期[楽を耶 • 軽減 間、ヤ	くいる向きを	環境 けた ち着	設定 取組 かな	等) みを い状	」な 実施

No.	実施日	1	1日 :	2日	3日	4 E	3 5 日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日 2	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間		С	С	С	С	С	D	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	D	С	С	С	С	С	С	С	D	С	С	D	С
24	取組状況	たとて行	に際、 でででする。	興ちル、	味あ 着け ダウ 身体	るるン拘	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ で の が る で の を の を の を の を の を の を の を の を の を に を に	包まる 提供な 取組み 軽減	るこ ぶど みを	あけウ体	もの 毛布 を図	や包 の提 る 取 止・	見まは組経を	ことで ごで 2 と 行う	で落ち フール う等、	着ダ身細	「不 期 軽 え 人	室調入に夜態始の」向勤に。	兆した など、 けた耳 時は	が見り 身の 取組 タ 食	られた 本拘す みを 多	○際、○原止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止○底止	早 : • : 人	見軽食わ人	れたに向以降い取	で際け「組へ認の上のででででです。	期が 取組 の を 記	个入」 みを写 犬態に 式行中	など 実施中 こ合す であ	、 身 2 た が	体拘 人 身 体 会	東廃. 勤時に 拘束: 議に	止・ は夕 を行 て 1
	拘束時間																																
25	取組状況	たカト房島	ごった ヾ持て ヾ 前の ・ ・ 体	がる一過東	、引きたうだい。	きス活方・軽	可東は た。 「ラーラ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	「見通 ールオ 日中・ し」 等	通し ぎ一 就 養、	だうのし	た が ジ 」 見	、「! ュー/ 「日 し <u>.</u> 直し <u>.</u>	本見ル中」ナガ通ボ・等た	ンが持 ードヤ 沈床 身 を	きてる 5カー かの 歩 り か り か の ま で り で の ま の り れ り れ り れ り れ り れ り ま り れ り れ り ま り り ま り り ま り り ま り り り り	よドご廃施	だうのしき、	期たケ用の身組間がジ」見体み	、ユ「直し」	見 レ 中 上 を 止 に た な 止	し が 対	きてる 5カー 前の過 1き続	よドご	持て 用」 見直	るよ 「日 し」	は身体 う 中 な 組 み	ジ: (床 (引	ュー川 前等、 き続き	/ボー 空き ・、身	ドや 時間	カー の過	ドの対	活力の
	拘束時間		С	С	С	С	С	С	С	С	С		В	С	С	С	С	С	С	С	С	С	В	A	В	В	A	В	В	Α	Α	В	
26	取組状況	贤		F.	身体:	拘束	引帯の加 原廃止 ミ施中。	• 軽源		拘束 を実 の状	廃止 施中 態に	・軽減 。なる 合わ [†]	一 錠 成 おせと かんしょ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はい はい はい かんしょう はい	可けた ア 方 か 定解隊	取組 いら本 余の記]み 	体拘みを	間東実状中。	止・ 中。 <u>タ</u>	怪減(夕食(こ向 (* 後以降	ナた取 ¥の、	ス組 本 きを	減に 人の を実	向け 状態 施中	のたいでにいる。] みさ が、	を実施 こ身位 こ <i>の</i>	匝中。 均束)期間	夕食 を し の 最	後以ない	降の 取組。	「本 み」

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 1	2日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	Е	D	Е	Е	Е	Е	Е	Е	С	D	С	С	Е	Е	Е	Е	С	С	E	E	Е	D	Е	С	С	D	С	E	D	Е	С
27	取組状況	援 <i>の</i> ンて 拘束	続の変更を	」「j す日 ・軽	職員。 課設2	とマン 定」等		-マ }体	「職」日課	員と 設定	マン 」等、	員の支 ツーマ 、身体 取組み	ンで 拘束	過こ 廃止	: :す : : : :	ので拘を	底」 ごす 廃止 確認。	「「日・。解・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	員とで 安定」 或に「	マンツ など 句けた 旦当職	ノーマ ご、身 こ取組	?ン ∤体]み	ツール・	マン 軽減	で過 に向	ごす I けた I	∃課記 取組 <i>∂</i>	g定」 ≯を実	など 終施中	職身まれる。取組	体拘り た、i	東廃 旦当
	拘束時間	A	В		С	Α	Α	Α	Α	A	Α	A	Α	A		Α			A			A			Α				В	Α		
28	取組状況	間σ.	・続き)変更 (に向	」等、	、身化	体拘束		E •	るため変更	めに 」等。	就床 、身	らの不 時薬の 体拘束 みを実	服薬 廃止	连 時間 軽	列の 浸減 :	るた 変更	めに 」な	醒から 就床り だ、り た取糸	寺薬 <i>(</i> 身体打	の服薬 句束 <i>勇</i>	獎時間 逐止•	の	薬の	服薬		の変更	更」な	ょど、		ため、拘束		
	拘束時間	D	D	С	С	D	D	С	Е	С	Е	C	С	Е	D	С	D	С	С	С	D	С	С	E	С	С	E	D	С	D	В	В
29	取組状況	余明り日	続き間 時間増 ばに向	提供 _. 」等、	」「 」 、身(職員 <i>(</i> 体拘す	の か 東廃山	^わ Ŀ・	供」等、	「職 身体:	員の 拘束	_ 過ごす か 発止・ 施中。	り時	間増	引 け	供」 など	「職」 、身	外でが気がある。	いかね 東廃」	つり 上・ 軒			かわ	り時		」なる	ビ、身	设時間 身体拘		;」「; ;止・	職員(軽減)	
	拘束時間	D	Е	С	Е	Е	Е	D	D	D	D	Е	С	Е	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	Е	D	D	D
30	取組状況	めの	・続き)検討 ばに向	」等、	、身化	体拘束	東廃山	Ŀ •	行」:	等、	身体	錠のた 拘束廃 を実施	止•	軽減	けこり	行」	など	錠解釒 、身り 取組 <i>み</i>	本拘り	朿廃⅃	上• 軽		の際 視覚	に課化し	題と	なる¥ 前にス	犬況で 本人に	で本人 こ示し	が取	を試 るべ こじる	く行動	助を

No.	実施日	1 E	2	∃ 3	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間					A	A		A				С			Α						В	Α	В									
31		グ、	• 軽	の提	供」	等、	身体	・ できる 本拘す みをす	ト廃 しんしょう しょうしん しょうしん しょく しょく かんしん しょく しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しん	供」	が 等、 た取	身体	拘束	廃止	• 軽源		供」	など	換でる 、身体 取組 <i>&</i>	本拘り	東廃山	上・ 転								提供」 ⊁を実			体拘
	拘束時間	E	E		D	Ε	С	E	E	Е	Е	Ε	Ε	C	C	С	С	С	С	C	С	С	С	С	С	D	D	D	D	С	D		D
32	取組状況	時 身(夜 東廃	助時 止	の施 ・軽派	錠解	の夜菫 !錠」 句けた	等、	の施	当職 錠解 軽減	錠」	等、」	身体扌	句束原	荖	組み 室施 当職	を実 錠の 員だ	廃止。廃止ののである。	, なる 解除! なく、	お、夜 こつし _ 全職	反間 <i>σ</i> ヽて、 戦員か	D居 担	の居 する	室施	錠の 担当	一部角 職員(解除を	- 4月	経減に 引より は居室	全職	員が	
	拘束時間	С	C		С		С	С	С	D	С	С	С	С	С	С	С		С	C	С	С	D	С	С	С	С	С	С	В	D	Е	С
33	取組状況	身值		束廃	止に			を経て るよう		身体	月段 拘束 実施	廃止				5取		止に	取組 <i>a</i> つな <i>t</i>					段階るよ	的なう取	取組組み	みを約 実施「	経て 、 中。	身体	卜拘束	廃止	につ	なが
	拘束時間	С	E		D	D	D	D	D	Е	Е	Е	D	D	D	D	E	Е	Е	Е	Е	D	D	Е	Е	Е	Е	D	D	D	Е	Е	Е
34	取組状況	不性セン	スメ • 軽	の軽 ント	:減」 」 等	「ス 等 、 身	下安 身体护	・ 等生理 定時の 東 タ みを 写	Dア 陸	減」 ト」	温調 「不 等、 た取	安定	時の 拘束原	アセ <i>ス</i> 廃止	スメン • 軽派		快感など	の軽 、身	「室』 減」 体拘す みを耳	「医 _犯 東廃」	療と <i>σ</i> 上・軸)連携	隽」	くア	プロ	ーチ		ってし	き、	f動を 寝て			
	拘束時間	С			С		D	С		D		С	D	D	С	Е			С	С	С	D		С		D	С	D	С			D	D
35	取組状況	ブル 等、	レを 身(回避 本拘	でき	きる時	環境 ● 軽》	上のト 整備」 域に向		でき	る環 ・軽	境整	備」ੰ	等、身	身体护	_	でき	る環 止・	者との境整値軽減に	備」 オ	など、	身位	卜拘	用者	との	トラ	ブルる	を回過	座でき	・ファ きる環 可けた	境整	備」:	な

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	E	Е	Е	Е	Е	D	E	E	Ε	E	E	E	Е	E	E	E	E	E	Е	Е	Е	Ε	Е
36	取組状況	設置	:続き :」等 けた	、身	体拘束	へのも 東廃⊥ 実施中	上・軽	圣減	身体	拘束		• 軽》		置」等 句けた	:取	ど、	室へ身体組み	拘束	廃止	• 軽源								置」な ≯を実			拘束原	<u></u>
	拘束時間												С																			
37	取組状況	が、 活用 備」	引き 品を 等、	続き、 そろ 身体	、「z えるz 拘束』	東はま な人の を 発中。	の望む の環境 ・軽源	〕生 き整	るな	どの:	環境	整備」	等、	をそろ 身体 又組み	oえ k拘 s た	が、 ろえ	期間「るな安定	人のi どのi	望む 環境	生活月 整備」	用品を なと	そ	む生	活用	品を	そろえ	える等	ト実施 等の環 を実施	境整		本人(など、	

拘束種別: やむを得ず、自分で降りられないようにベッド柵(サイドレール)を使用する

実施月: 令和3年3月の実施状況

-								_																								
No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	E	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	E	E	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	E	E	E	E	E	E	Е	E	Е
1	取組状況	と毎	日柵	の使 ・軽	用要 減に	と怖 求あ 向け	いか り。 て取	身体 り組	本と拘み	日柵廃止	の使 ・軽	用要:減に	と怖 求あ 向け	いか。 り。! て取	身体 り組	と毎 拘束	日柵廃止	の使。 ・軽	用要減に	と怖 求あ 向け	いか! り。! て取!	ら」 身体 り組	用要	より 求あ みを	り。	身体	拘束	いか 廃止	ら」。 • 軽》	と毎 E 咸に「	ヨ策 <i>0</i> 句けで	D使 C取
	拘束時間			С																												
2	みを検討する。 みを検討する。 みを検討する。 みを検討する。 みを検討する。 りんぱがを使討する。 しまままり 解除に向けた取組みを 前月より解除に向けた取組みを 試行中。クッションで体位保持 試行中。会議にて試行の評価を 試行中。会議にて試行の評価を 行う。 園の会議にて身体拘束は終了となる。 行う。 したま落予防を行っている。 したもなる。 にたいる にないる にない はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい																															
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	E	E	E	Е	E	E	Е	Е	Е	E	Е	Е	E	E	E	E	E	E	E	E	Е	Е
3	取組状況	うに止・	なる	こと に向	あり	、身	体拘:	東廃 を再	べ う 止 検 討	なる 軽減	こと に向	あり	、身	体拘束	東廃 を再	うに 止・	なる	こと に向	あり	、身 [·]	体拘束	束廃	あり	ド上 、身 検討	体拘	束廃.	かし! 止・!	転落 軽減(しそ [・] こ向(うにた ナて耳	なるこ 反り糸	こと

No.	実施日	1 🗏	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	E	E	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	E	E	Е	E	E	E	Е	E	E	E	E	E	E	Е
4	取組状況	ドジ時に止	バイスア 体彰なる	こと あ 域に 向	。ベアク できか。	シットションションションションションションションション	のヨ落拘束	ャッ 使用 そう 廃	クかり。	ショ 転落 会議	ン使 しそ にて	用時 うに 身体	、体 ⁱ なる 拘束	幹の(こと) 廃止	頃き あ • 軽	ベクかり減るツッら。に。	ショ 転落 会議	ン使 しそ にて	用時 うに 身体	、体 なる 拘束	幹の(こと) 廃止	頃き あ • 軽	用時 あり	、体 。会 組み	幹の議に	傾き て身 検討	から! 体拘! する。	転落 東廃」 。ま?	しそ [・] 止・ た、	クッ ^う うにが 軽減し	なるこ こ向 (ことし
	拘束時間	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	E	Е	E	Е	Е	E	E	Е	Е	E	Е	E	Е	E	Е	E	E	Е	Е	E
5	取組状況	り糸	且みを	・ 廃止 経検討 解除す	した	:結果	. 日	中静	り組 養時	.みを :に解	検討 除す	したるこ	結果 とを	、日中	中静 中。	身体 り組 養間	みを に解	検討 除す	した。	結果 とを	、日 [□] 試行 [□]	中静 中。 ス	したきて	結果 いる につ	、日 。 いて	中静 は同	養時	には	解除	り組 <i>み</i> するこ 歩もる	ことた	バで
	拘束時間	Е	Е	Е	E	Е	Е	E	E	E	E	E	E	E	E	Е	E	E	E	E	E	E	E	E	E	Е	E	E	E	E	E	E
6	取組状況	未をを性	受置 ほうしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	が間べこたてった。再	確ドがその	せいた こで激 らり転 りため	が、 く 落解	夜間 身体 可除方	未をを動性が	置しかあっ	間べこた。	確保 ド上 があ	した別り転りため	が、 しく 落の 、 解[夜間 身体 可能	脱行を付きる	設けく事	たが がみ	、ベ られ	ッド. た。	わなり 上で 検討 ^つ	敫し ド柵 す	時間 後す	帯を ぐに 性が	設けべっ あっ	る。 ド上	ベッ で激	ドへをしく	移乗。 体を	すると 弾まt	と、そ さ転済	その

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	E	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е	Ε	E	E	E	E	Е	Е	Е	E	E	E	E	Ε	Е
7	取組状況	体止る況減の	jがあ が 為 3要り 取り	った 取れ タリ 牛を	場ないがないと	に自たにたった。	ら転送 実施 本人。 中の	落防 すの軽 軽間	体止る況減の	があが 為 る 要 り	った 取り すを 組み	に場なン認と点よ合いがする	自然にある日	ら転え 実施を 本人の 中の	上落すの軽 時の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	体止るリをし動行。ン確で	機が為3グ認日試能あが月にす中行	つ取1てるの時間	場な日人軽	にたル状の	ら 実 プ と 3 組 る 選 る る も る も る も る る も る も る る る る る る	落 す 二 件 と	場合 する 本人	に自。3、の状し	低ら月況て	落防 7日 3要作	止行. グル· ‡を確	為が〕 ープ・ [認す	取れ。 モニ: つる。	ない <i>†</i> タリン 軽減	こめ 写 ノグに の 取	ミ施 こて り
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Ε	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	E	E	Е	Е	Е	Е	Ε	Ε	E	Е	Е	E
8	取組状況	体動止る。に対)が為 大 大 大 大 る 要 も る 要	った 取れ 員 静養	場ない議応	にかででに	ら転え 実施 在ので	落防 す 負傷 確認	体動 止行 る。 に対	が為支する	っ 取 員 養	に場な会対つははないで	自りので現る	ら転え 実施で 在の1	落す負権認 場別	体止る会対。議応	が 為 が る が 現	った 取れ 15 在の で	場な日負確の傷認	に も た モ 対 し 、	ら転 ^注 実施 [・] タリ	落防すが養	場合するの負	に自 。3 傷に	ら転え 月 1 対す・	落防 5日 る静	止行。 のモ 養対	為が] ニタ 応に [:]	取れる リン・	ない <i>†</i> グ会詞	こめ 義 で 現	ミ施 見在
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	E	E	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е
9	取組状況	体重ので	があ 為が 支援 生保	った 取れ	場な会のの	にたで係	ら転 実施 ロバ	落防 す ック	体動 止行 るの衛	が 為が 支援 生保	った 取員 持と	に場な会のすりにおい。	自めいでを	ら転え 実施で ロバ・	上 落 ず ク -	体止る議ので	為が 3月	った ⁵ 取れ ⁷ 9日 <i>の</i> バッ	場合 ない)モニ クの	に自 ため: ニタリ 衛生 [・]	ら転え 実施・ ドング 保持・	落防 す ぐ と の	場合 する バッ	に自 。3 クの	低下に ら転う 月9日 衛生の	落防 lの t	止行. ∃ニタ	為が []] リリン	取れ ^た グ会	ない <i>†</i> ≩議で	こめ 月 ウロ	ミ施

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	Е	Е	E	E	E	Е	Е	E	E	E	Е	E	Ш	E	E	Е	Е	Е	E	Е	Е	E	E	E	E	E	E	E	Е	Е	Е
10	取組状況	用す	、の希 ⁻ る。 』を確	支援	員の	ベッ 会議	ド柵 で本	人へ	用す	る。	望に 支援 認し	員の	ベッ 会議 [·]	ド柵 [:] で本 <i>.</i>	を使 人 へ	用す リン	、の希 つる。 ・ グした	3/4 <i>0</i> 議で、) グル	レーフ	プモニ	ターカ	のグ		プモ	ニタ					る。3 _, 本人:	
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	Е	E	E	Е	Е	Е
11	取組状況	体動 止行 る。 の律	機が為支生件能あが援保を	っれ 員 持	場合な議の関	にかででを	ら転 実施 ロバ	落防 す ック	体動にるの衛	が為が麦生保	った 取れ	場ない議の関	に自 ため! でウ 係を	ら転え 実施 ロバ	落防すった	体 止 る 会 議	機が為3で係。能あが月ウを	った: 取れ: 15 ロバ	場ないのク	に自 ため モニ の衛	ら転え 実施で タリン 生保技	落 す が う と	場合 する バッ	に自 。3	ら転 月1 衛生	落防. 5日	止行。 のモ	為が〕 ニタ	取れる リン	ない グ会 記	こめ 義で ウ	ミ施 フロー

拘束種別: やむを得ず行う、その他身体拘束に当たる行為(車いすテーブル等)

実施月: 令和3年3月の実施状況

,	7宋时间。/ 	1407	1104214		,, ,		1 4 71-3 4		1	<u> </u>	3 16351		· .		<u>у —</u>		> \		1 1		- O F-1	1111111	-, \ _	<u>О н</u> .	1111) [17]	~ /II-J ~	· –	1 6 7 1 6 3		
No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	Α	Α	Α	Α	A	A	A	A	Α	Α	A	A	Α	Α	A	A	A	Α	A	A	Α	A	A	Α	A	Α	Α	Α	Α	A	Α
1	取組状況	で 使 し 束	泄中 の際 拘束 時間	の様 の評 実施	子価する5	つ確認。以内	全報組織の	告。 続と 体拘	定排いしに束な済す泄かく集を場む	るがど上中実合時。あう半で施はも	1日るか身きす10あ	15排守動い。程。回泄りか時排度15	~中をすの泄の分にす時みが身以	るが、 や、 、身(のな激泄拘ズで体	ポ上りとす	タ身すて。ブをる見継	ニル動とら続をタトか気れし寮	イすがてて	にやるる価を職様状を	った[員が] 子がそ で 対 し 対	際 見 弦 窓 し な 窓 し る に る に る に る に る り る り る り る り る り る り	しをき尚し、行る、安	30日 い環境 転全	の承をの排での排	動れ索能を制るし性し	限引いいます。 限引が のいが のいが のい	定き続いる。	議にき安ける	て報行で報行	告、 で 排 け て い を ま も も も も も も も も も も も も も も も も も も	催認し、大きでは、一大もでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに
	拘束時間	D	D	С	D	С	С	D	С	С	С	С	С	С	В	С	В	В	С	С	С	С	В	С	С	С	С	С	В	С	С	С
2	取組状況	「個	別支 止・	援の	拡充	」等	直し、 、身 ⁽ 取組。	」 体拘		を実 帯に	施中 つい	。な ては	お、i 、離	就床 床セ:	時の ン	の強	化」	ンサ [.] など. けた.	、身	体拘	_ 束廃.	<u>巡</u> 凹 止・ も		いでなど	済む 、身	環境	整備	آً ا	離床⁻	確認」 センサ こ向 (ナー 0	-

No.	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С
3	取組状況	食事 身体 等、	時間 拘束 身体	・、、で拘を、いる。	やつ ない 廃止	の時 時間	間なの徹	ど、 底」	しな	つの い時 止・	時間 間の	など、徹底	、身 [·] 」等:	体拘〕 、身 ⁽	東を 体拘	おやしな	い時 止・	時間	など、徹底	、身 」等	体拘 ⁵ 、身(東を 本拘	等、	身体	援の 拘束 止・!	をし	ない	時間(の徹り	底」だ	など、	
	拘束時間	Е	Е		Е	Е	Е	Е	D	Е	Е	D	Е	Е	D	Е	Е	Е	Е	Е	Е	D	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е
4	取組状況	夫時療相	「寝 起床 の連 後」等		環境 対応 「理 体拘	調整 の検療 東廃	」「 討」 法士· 止・〕	不「へ軽減	等環 の対 携」	境調 応の 「理 身体	整」 検討療 拘束	「不 」「 法士 廃止	眠時 医療への・軽	・起 との 相談	末時 連 」 向け	等環の携」	境調 応の 「理	整」 検討 学療 拘束	「不 」「 法士 [.] 廃止	眠時 医療への・軽	・起原 との説 相談」 減に「	末時連なけ	対への取っ	の検 相談 組みと	供討」をし入し	「医 ど、 施中 、3/2	療と 身体 。な	の連 拘束原 お「マ	隽」 廃止 夏 具	「理 ・軽》 等環均	学療法 或に向 意調恵	も士 可け 登」
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	D	Е	Е	Е	D	E	E	D	Е	Е	Е	С	Е	Е	D	D	D	Е	D	Е	E	D	D	E	Е	Е
5	取組状況	る。 要件	支援 と拘	員の	会議 除の	を実 取り	施し	、3 につ	る。	支援	員の 東解	会議除の	を実 取り	施し.	、3につ	る。 議を	的 3 月 施 1 月 組	15 し、	日モ 3 要 [・]	ニタ 件と	リング	グ会 解除	日モ	ニタ	動きり	グ会	議を	実施	し、	3 要作		

No	実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	Е	Е	E	Е	Е	D	Е	E	E	E	D	E	E	D	D	Е	С	Е	E	E	E	Е	E	D	E	E	Е	E	E	Е	Е
6	取組状況	る。 要件	的な援告と拘確認	員の 束解	会議 除の	を実 取り	施し.	、3につ	る。 要件	支援 と拘	員の	会議 除の	を実 取り	施し、	. 3	る。 を実	的 3 加 加 組 み	10日	モニ· 要件	タリ と拘.	ング: 東解[会議徐の	モニ	タリ	ング	会議	を実	施し.	. 3 =			
	拘束時間	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	E	E	Е	Е	E	Е	Е	Е	E	E	E	Е	E	E	Е	E	Е	E	Е	Е	Е
7	取組状況	かご示後見	時降人あ激けかう間車かりしらっ。	すら再くれる車乗身て	取椅車体解り子しを除	組乗て動時	をしたのる。すのでは、	た思乗と保が表車がが	すが表体解	目本が動時	きでかるすのの続車ら。こ確再	椅子 車椅 乗車が 保が	か子後見難し	降車の熱いのである。	確し意くれた。	るを車ら間引きをき	制、定子み継続を限車し上ら続き増	椅たでれす、 子が激てる行	か車しおの動し	降子動、難限を開います。	す車事除い解する後はす状除	幾も変る兄する、わ時。る	かもれい	降車おい。	す子、引き	機会 で激す	を設! しく! る時! 、行!	定しる 動を対 動制	たが 事は 継続 限を	る 春夜す解	ア乗車 らず <i>み</i> ひが糞	後 Pら 性し